

京都府内で飼養される豚等へのCSF(豚コレラ)予防的ワクチン接種について

令和2年1月10日
危機管理部
農林水産部

本日、本府の飼養豚に対するCSFワクチン接種プログラム^{*}について、国の承認が得られたため、本府において下記のとおりワクチン接種を開始しますので、お知らせします。

※CSFワクチン接種プログラム

ワクチン接種地域や開始時期、接種の具体的進め方などを記載したワクチン接種の計画書
家畜防疫の観点から適切に実施されることの確認を行うために、国の防疫指針で提出が義務付け

記

1 予防的ワクチンの接種

(1) 開始日：令和2年1月15日(水)(初回一斉接種は7日間で終了予定)

- ・1月10日付けで京都府知事が告示により命令(家畜伝染病予防法第6条)
(国の承認が得られたため、既にワクチンを発注済み。1月14日(火)に到着予定)

(2) 接種予定頭数：約8,000頭

- ・府内豚等の飼養者(43戸)を対象に家畜防疫員(家畜保健衛生所獣医師職員)が、ワクチンを接種

※ 府内全飼養頭数 約11,000頭のうち、生後1か月未満の子豚などを除く。
※ 初回接種以降、新たに生まれた子豚は、1か月ごとに順次接種

(3) 初回一斉接種に係る手数料の免除

- ・初回のワクチン接種は、緊急的に短期間で一斉に接種し、感染を予防することが公益上重要であることから、初回一斉接種に係る手数料を免除
(接種手数料：1頭あたり200円)

(4) 今後の予定

- ・1か月ごとに生まれる子豚(約1,600頭)を家畜防疫員が順次接種

2 ワクチン接種後の防疫対策

(1) 飼養豚等への防疫対策

- ・発生事例等を全豚等飼養者に情報提供し、予防対策徹底の指導を継続
- ・定期巡回により農場衛生対策を点検し、ウイルスの侵入防止対策を継続
- ・飼養豚や野生いのししのCSF検査を実施し、ウイルスの浸潤状況監視を継続

(2) 野生いのししへの対策

- ・経口ワクチンを山林等に帯状に散布するワクチンベルト構築のため、「京都府野生いのししCSF経口ワクチン散布等対策協議会」を令和元年12月25日(水)に設立し、令和2年2月からの実施に向け散布計画を作成中

(参考) ワクチン接種推奨地域に設定された20都府県の接種開始時期

10月 : 群馬、富山、石川、福井、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀
11月 : 静岡、山梨、埼玉
12月 : 神奈川、東京
1月(予定) : 新潟、京都、奈良
2月(予定) : 栃木、茨城、千葉



京都府広報監 まゆまる

高橋 畜産課長(075-414-4980)
田村 農村振興課長(075-414-4905)

～ 京都府報道発表資料 ～